

令和6年度上半期財政の状況

6年度上半期(令和6年4月1日～9月30日)の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。
市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計に分かれています。数値はすべて6年9月30日現在のものです。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、福祉、教育、小・中学校や公共施設の維持・管理、道路整備、ごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

6年度の予算現額(年度当初の予算額に修正予算額などを加減したもの)は540億5298万円です。執行状況は図1のとおり、歳入では収入率が42・5%、歳出では執行率が35・1%です。

● 積立基金(貯金)・市有財産

積立基金(貯金)は表1、市債(借金)は表2、市有財産は図2のとおりです。

● 市税負担、市民サービスなど
市民の皆さんが納めた市民税や固定資産税などの市税負担額、市民サービス費用(※)、貯金、借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は、図3のとおりです。

※市が行うサービスにかかる費用のことで、市税や国・都からの支出金などが財源

表1 積立基金(貯金)

	現在高
一般会計	
財政調整基金	92億5152万円
特定目的基金	100億7300万円
特別会計	14億2098万円
合計	207億4550万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)

	現在高 (元金の残高)
一般会計	
建設事業債	76億5154万円
災害復旧債	3721万円
特例地方債	78億4641万円
合計	155億3516万円

※建設事業債＝学校、道路、公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※災害復旧債＝自然災害で被災した公共施設の復旧のための借入金
※特例地方債＝財源の不足を補うための借入金

図1 6年度一般会計 予算の執行状況

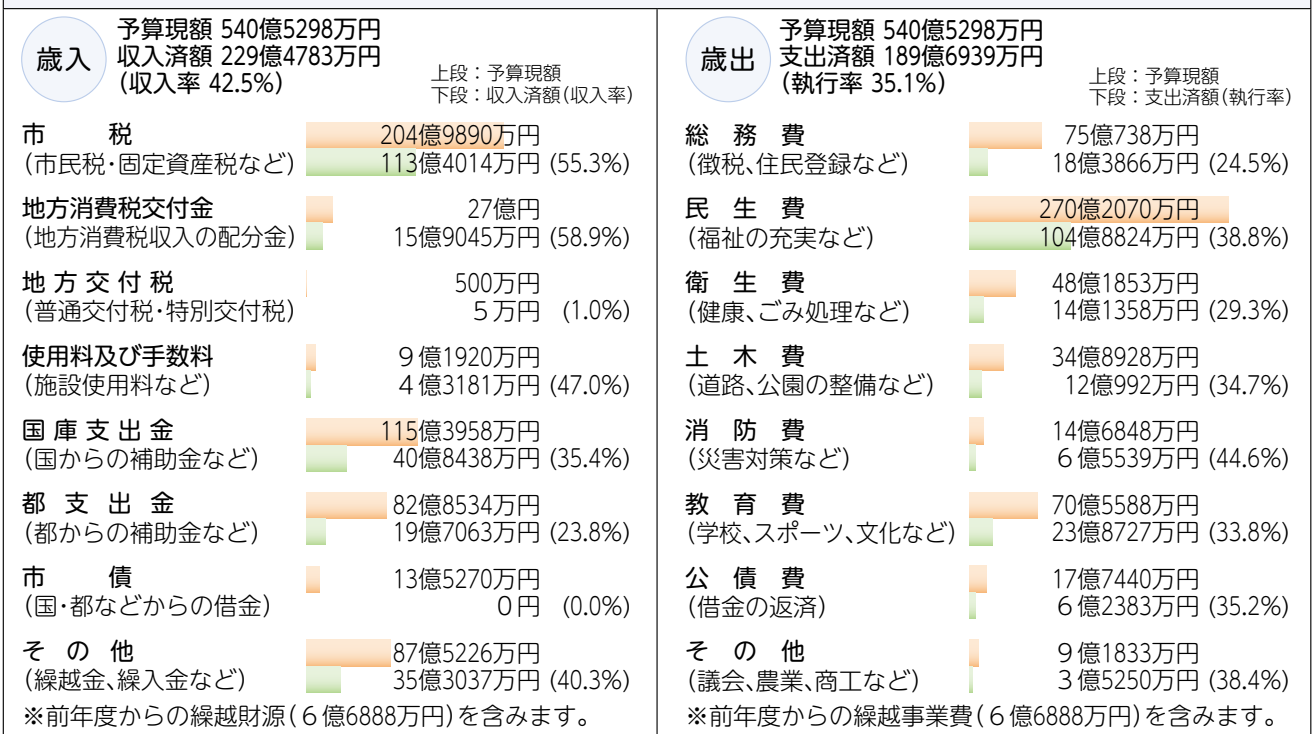
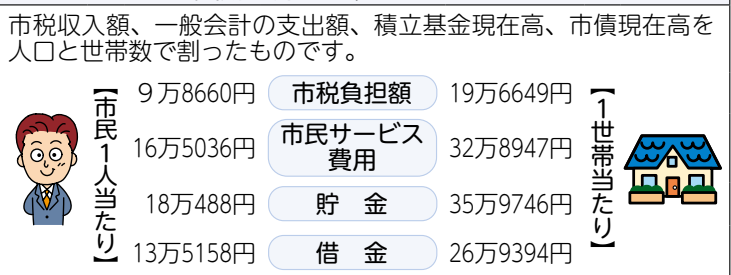


図2 市有財産



図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金



※6年9月30日現在の人口は11万4941人、世帯数は5万7667世帯です。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計から分離して収支を管理している会計です。各会計の予算現額と歳入・歳出予算の執行状況は、表3のとおりです。

企業会計

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支

表3 6年度特別会計 予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険	123億5543万円	40億8367万円 (33.1%)	42億3174万円 (34.3%)
介護保険	102億9217万円	42億3572万円 (41.2%)	41億3591万円 (40.2%)
後期高齢者療	32億327万円	11億6429万円 (36.3%)	10億3654万円 (32.4%)
中神土地区画整理事業	3億8561万円	1億6049万円 (41.6%)	7746万円 (20.1%)
中神駅北側地域整備事業	12億3738万円	3億4669万円 (28.0%)	3億3208万円 (26.8%)
合計	274億7386万円	99億9086万円 (36.4%)	98億1373万円 (35.7%)

※中神土地区画整理事業は前年度からの繰越財源・繰越事業費(各956万円)を含みます。

表4 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

	6年度	5年度	前年度比
水道事業			
給水人口	11万4940人	11万4411人	529人(0.5%増)
給水世帯	5万7666世帯	5万6695世帯	971世帯(1.7%増)
有収水量	611万7596㎡	617万5077㎡	△5万7481㎡ (0.9%減)
下水道事業			
接続人口	11万4286人	11万3736人	550人(0.5%増)
接続世帯	5万7343世帯	5万6364世帯	979世帯(1.7%増)
有収水量	534万2749㎡	546万1778㎡	△11万9029㎡ (2.2%減)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表5 企業債(借入金)の現在高

	6年9月末	5年9月末	前年度比
下水道事業			
現在高(元金)	28億4282万円	31億6188万円	△3億1906万円 (10.1%減)
接続人口1人当たり	2万4875円	2万7800円	△2925円 (10.5%減)

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表6 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	<div>*営業収益 8億395万円 水道料金による給水の収益など</div> <div>*営業外収益 2133万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など</div> <div>合計 8億2528万円</div>	<div>*営業費用 2億9548万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など</div> <div>*営業外費用 99万円 雨水貯留槽設置助成金など</div> <div>合計 2億9647万円</div>		<div>*建設改良費 4億227万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用</div> <div>*企業債償還金 1億9321万円 企業債の元金</div> <div>*投資その他資産 11万円 基金積立金</div> <div>合計 4億227万円</div>
下水道事業	<div>*営業収益 7億2071万円 下水道使用料、雨水処理負担金など</div> <div>*営業外収益 826万円 預金利息、一般会計補助金など</div> <div>合計 7億2897万円</div>	<div>*営業費用 2億2723万円 下水道管などの維持費、汚水処理負担金など</div> <div>*営業外費用 1230万円 企業債の借り入れ利息など</div> <div>合計 2億3953万円</div>	<div>*他会計補助金 6600万円 一般会計補助金</div> <div>*負担金等 65万円 受益者負担金</div> <div>合計 6665万円</div>	<div>*建設改良費 6671万円 下水道を安定して使用するための工事(汚水ます設置)などの費用</div> <div>*企業債償還金 1億9321万円 企業債の元金</div> <div>*投資その他資産 11万円 基金積立金</div> <div>合計 2億6003万円</div>

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。

※水道事業の資本的収支は前年度からの繰越事業費(4億2052万円)を含みます。